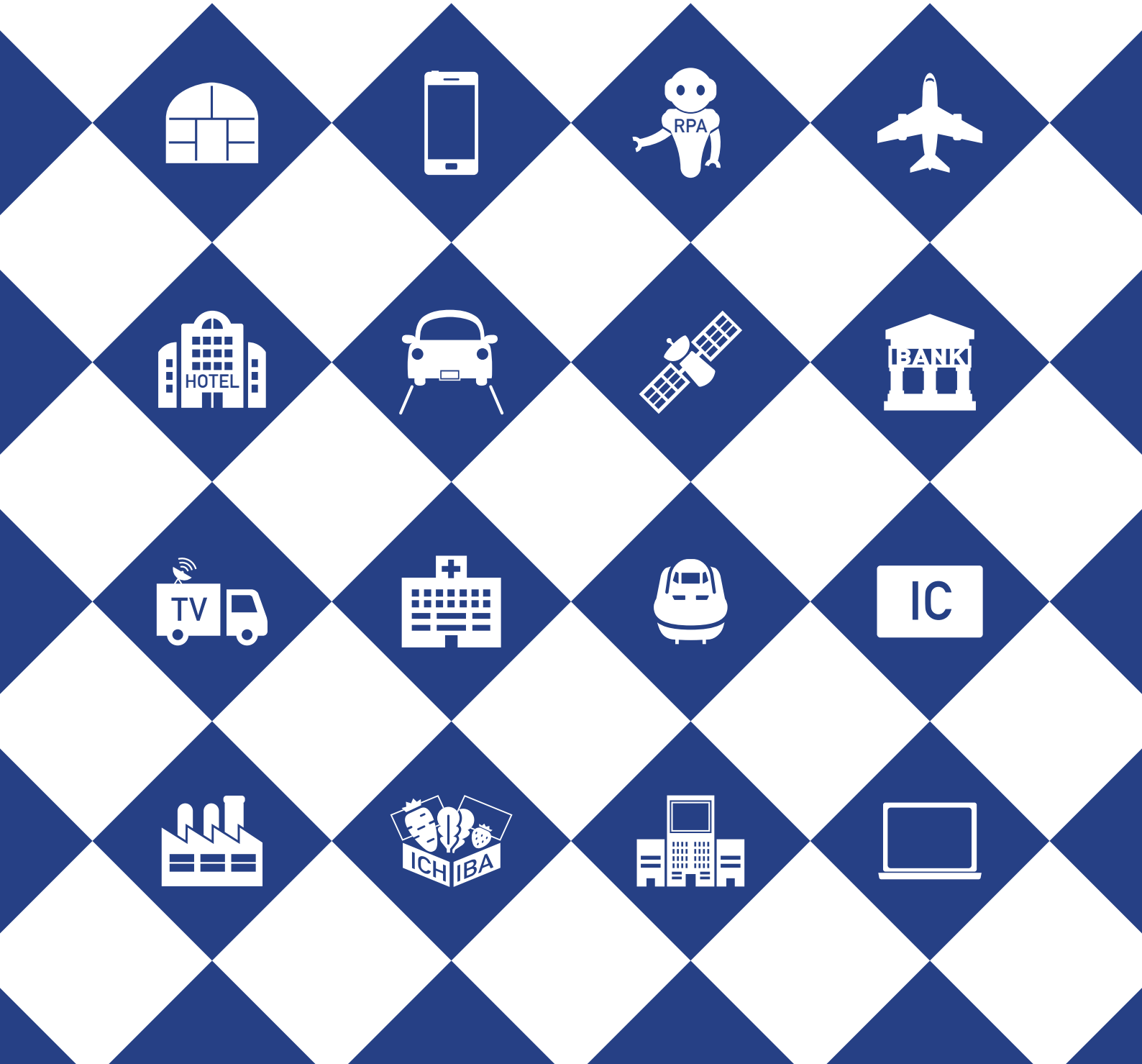
IT can create it.

KEYWARE

CSR REPORT

キーウェアグループ CSR報告書

2019





ICTを活用し お客様の夢・理想の実現、持続可能な社会の実現を 目指します

キーウェアソリューションズ株式会社
代表取締役社長　三田 昌弘

●キーウェアグループのCSR

キーウェアグループは、社会的役割として「創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献する」ことを掲げています。安全・安心かつ安定した最適な製品・サービスを提供すること、事業を通じて持続可能な社会の実現を目指すことが当社の社会的責任であり、CSRの基本的な考え方です。

お客様や社会のニーズに応えるITソリューションサービスを提供し、企業として成長していくためには、さまざまなステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら、経営の健全性・透明性を保ち、誠実な事業活動を推進していくことが重要だと考えています。このような社会的役割や社会貢献のあり方を社員一人ひとりが正しく理解し、実践するためにCSR方針として、当社の考え方を明確にしています。このCSR方針に基づき、毎年具体的な目標を設定し、実績を管理し、PDCAサイクルを回しています。特に社員の意識向上を目指し、社員が参加するイベントを複数行っています。その一つとして会社の周辺の清掃活動を毎月実施し、毎回多くの社員が参加しています。

また、コンプライアンスを実践することはもとより、当社に起因するシステムの不具合やセキュリティ事故によりお客様に損害を与えるような事態は絶対に招いてはなりません。当社は官公庁、運輸、通信、金融、医療、流通、製造等の多様な分野において社会インフラを支える情報システムの構築に携わっており、緊急時にも対応できるよう常に意識している必要があります。そのために社員へは、情報セキュリティやコンプライアンスに関する集合教育やe-Learning等さまざまな教育・啓発を行っています。

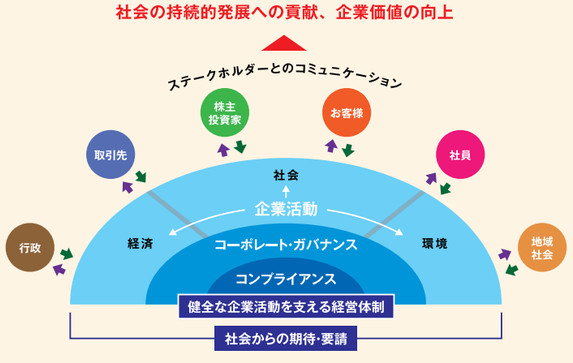
●働き方改革への取り組み

昨今、労働環境や働き方に関する法律が厳格化されていますが、単に法令遵守ということでなく、社員が働きやすい、働きたい企業となるよう全社横断的な課題検討・解決を進めています。

IT企業にとって最大の経営資源は「人」です。お客様に最適な製品・サービスを提供し、持続可能な社会の実現に貢献するためには、社員が心身ともに健康で、公私ともに充実した生活を送ることも大切な要素だと考え、「健康経営」と「ワーク・ライフ・バランスの実現」を推進しています。

CSRの考え方

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



企業理念

事業領域	情報技術に関する全てを事業領域とします。
企業風土	個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。
社会的役割	創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。
企業スローガン	IT can create it. クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとします。

キーウェアグループの社員行動規範

ナレッジを磨け	常に自己研鑽にはげみ、何よりも経験と知識が重要であると心得よ
失敗を恐れるな	挑戦しなければ新しいものは生まれない。沈黙している事より挑戦した結果失敗してもその方が価値がある
常に相手の要求を超えろ	相手の要求に応えるだけでは、相手は感動しない。 常に相手の要求を上回る成果を示し、相手を感動させよ、そこからの会社の、ひいては個人の評価が高まる
国際的な視野を忘れるな	世界は常に変化している、昨日の正解が今日の正解とは限らない、 常に新しい情報に目を向け、世界を意識し続けろ
公明正大に行動せよ	公明正大な行動が個人を輝かせ、会社の評価を高めると心得よ

キーウェアソリューションズでは、2019年7月に健康優良企業の認定（銀の認定）を取得し、健康診断の受診促進、運動や栄養など健康維持に関わる情報提供を行うことで、社員の健康管理に関する意識を向上できるような施策を行っています。また、社員がクリエイティブな発想で業務に取り組むためには、仕事もプライベートも充実していることが必要です。社員自ら、プライベートの時間を作り、仕事以外で会社の仲間同士で時間を共有する部活動の実施や趣味を楽しんでいます。会社としては、育児や介護と仕事の両立ができる柔軟な働き方ができる制度の整備を進めるとともに、コミュニケーションの活性化と業務の効率化をはかるIT環境の整備を進めています。2019年4月からはキャリアパスを明確にし自分の強みを活かして意欲的に働ける職場にするため、人事制度の見直しを行いました。

さまざまな施策の効果はこれから表れてくると思いますが、既に時間外作業の削減と有給休暇取得数の増加という成果が出ています。

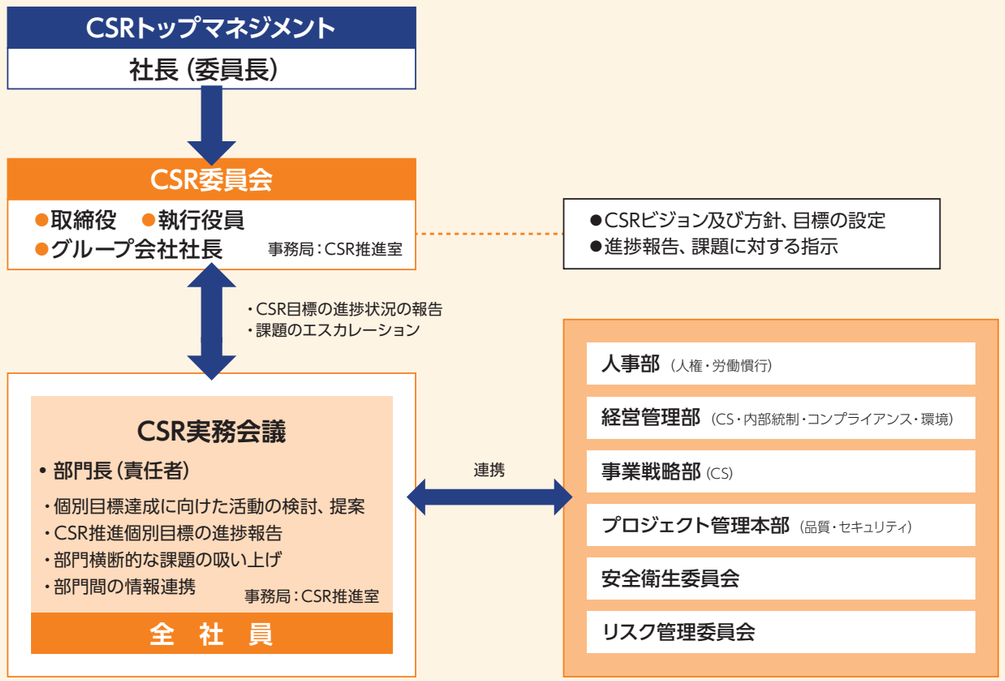
制度や仕組みの見直しに加え、会社・社員・家族の相互理解を深めるため、毎年、社員の家族を会社に招くイベント「キーウェア・ファミリーデー」を開催しています。回を追うごとに参加者が増え、参加していただいた家族や社員から好評を得ています。

●持続可能な社会の実現に貢献するために

当社は、従業員の個性を活かし、従業員の能力の向上に取り組み、事業を通じて社会の発展に貢献し、お客様にとって必要不可欠な「顧客価値向上企業」でありたいと考えます。

今日、ICTの利活用は教育、農業など日々の暮らしの細部に至るまで広がっています。社会におけるさまざまな課題に対応していく上で、もはや必要不可欠な存在となっています。当社の企業スローガン「IT can create it.」に掲げたクリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性にチャレンジし、新たな価値を創造し、広く社会に提供してまいります。品質の高い製品・サービスを提供することはもとより、お客様に提供するための過程も重要です。全過程においてコンプライアンスを徹底し、確実なプロジェクト管理を行うことを心がけ、常に最先端技術の探求と普及に努めてまいります。これらのことを通じ、ステークホルダーの皆様に信頼され、成長を期待される企業となるべくさらなる努力を重ねてまいります。

CSR推進体制



CSR方針

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら持続可能な社会の実現を目指します。

キーウェアグループは、7つの重点領域においてCSR活動に取り組みます。

1 組織統治

我々は経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営の効率化・意思決定の迅速化を図りながら適切なコーポレート・ガバナンスの構築・維持に取り組みます。

2 人権の尊重

- 我々は、あらゆる企業活動の場面において、人々の人権を尊重し差別のない職場環境を目指すとともに強制労働を認めません。
- 従業員一人ひとりの個性や異なる発想・価値を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指します。

3 労働慣行

我々は、情報サービス産業の最大の経営資源は人材であることを認識し、人材の育成と高度化、適正な評価と魅力ある処遇、ワーク・ライフ・バランスなどを実現し、社員一人ひとりが将来を託し夢をかなえられる環境を目指します。

4 環境

我々は地球環境問題を社会の共通課題と捉え、環境負荷の低減を目指し、持続可能な社会の実現に寄与します。

5 公正な事業慣行

我々は、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進します。

6 消費者に関する課題

我々は、品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境についてのマネジメントシステムを運用し、安全・安心かつ安定した製品・サービスを提供します。

7 コミュニティへの参画及び発展

企業市民として社会と共生し、次世代人材の育成、地域社会・国際社会への協力、地球環境保護に寄与します。

暮らしの中のキーウェア

私たちは、情報システム・サービスを通じて
豊かで便利な社会の発展を支えています。

安心　安全　便利

01 空港で

航空関連システム

航空分野で効率的かつ安全な航行を実現するために高い信頼性を必要とするシステムの構築に携わっています。



02 工場で

ERPソリューション

製造・プロセス業／サービス業／商社のお客様を中心に多くの基幹系業務システムの導入実績を有しています。お客様の事業に最適なERPパッケージを活用し、導入提案から構築・運用に至るまで、一貫したサービスを提供しています。



03 流通で

商社、卸売業、小売業向け
在庫管理・入出庫管理システム

商社、卸売業、小売業向け在庫管理や入出庫管理システムの構築に携わっています。



04 高速道路で

交通情報ソリューション

各種交通情報（渋滞、信号機制御、感知器情報等）の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。



05 街中で

野球・ゴルフ・大相撲などの
スポーツ情報のニュース配信システム

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社及び新聞社など複数の事例を手がけています。





16 ホテルで

ホテルソリューション

ホテルの宿泊業務、宴会業務、購買業務などトータルソリューションを提供しています。



15 農場で

ハウス栽培向け農業支援サービス

ハウス栽培における環境や農作業の情報をセンサーネットワークと連携したクラウドシステムでモニタリングすることにより、栽培技法の可視化や農作業の省力化を支援するサービスを提供しています。



14 宇宙で

衛星追跡管制・
衛星関連データ処理宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。

13 オフィスで

経営とITの統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

12 ホームで

駅のホーム用車両接近状況表示、
行先案内表示、緊急案内表示

鉄道駅のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。



06 通信で

固定電話、携帯電話の通信情報、
パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通信料金を計算して各センターに設置されている料金明細センターへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

07 病院で

オーダリングシステム、電子カルテ、臨床検査システム、
院内感染監視システム

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。



08 銀行で

金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。



09 自宅で

ショッピングサイト

商品販売サイトのシステム開発に携わっています。



10 モバイルで

スマートフォン向けアプリ

スマートフォンを活用して日々の体重や血圧等の数値データを登録・管理できる健康管理サポートサービス「健康からだコンパスLifeRoute（ライフルート）」を提供しています。食事情報や日々の数値データを振り返ることにより、健康維持をサポートします。

LifeRoute

11 駅の改札で

駅改札におけるICカード利用など

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務に関するソリューションを提供しています。



マネジメント編



**キーウェアグループは、
経営の健全性・透明性を保ちながら、
継続的に企業価値を向上させていくために、
経営体制の強化に取り組んでいます。**

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

キーウェアグループは、持続的に成長し、長期的に企業価値を向上させ、社会やステークホルダーの皆様から信頼され成長を期待される企業となるためには、コーポレート・ガバナンスが極めて重要であることを認識しており、経営の健全性・透明性の確保、意思決定の迅速化、経営監督機能の充実化、ステークホルダーの皆様との適切な協働により、コーポレート・ガバナンスの充実を図っていきます。

経営監督機能と業務執行機能

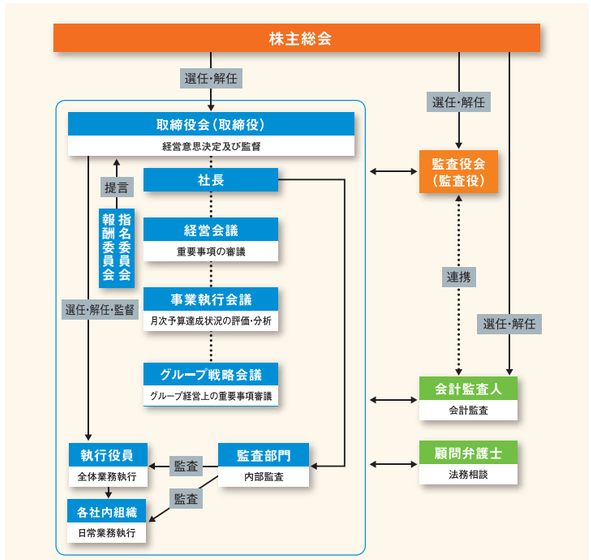
キーウェアソリューションズにおけるコーポレート・ガバナンスの基本は、取締役の「経営監督機能」と執行役員の「業務執行機能」において責任と権限を明確化することです。

取締役会の透明性を担保するために、社外取締役を選任しています。取締役9名のうち3名は社外取締役で、社外取締役のうち2名は独立社外取締役です。取締役の任期は、毎年度の経営責任を明確にするために1年としています。

業務執行機能を担う執行役員は、取締役会の決議により任命され、取締役会が決定した基本方針に従って業務執行にあたっています。執行役員は8名で、その任期は1年です。なお、取締役5名が執行役員を兼任していますが、当該兼任者の執行役員としての経験や知識は、取締役としての経営監督機能を高めるものと考えています。

監査体制

監査役及び監査役会による経営監視体制を構築しています。監査役4名のうち2名は社外監査役です。監査役の任期は、監査の独立性を確保してその地位を堅固なものにする必要があることから、4年としています。



コーポレート・ガバナンス体制（概略）

コンプライアンス

基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進しています。

また、役員並びに全社員が、健全な社会規範のもとにその職務を遂行するため、経営管理部においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同部を中心に教育等を実施しています。



内部通報制度

キーウェアグループでは、法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を防止するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査のもと、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

コンプライアンスの啓発・教育の実施

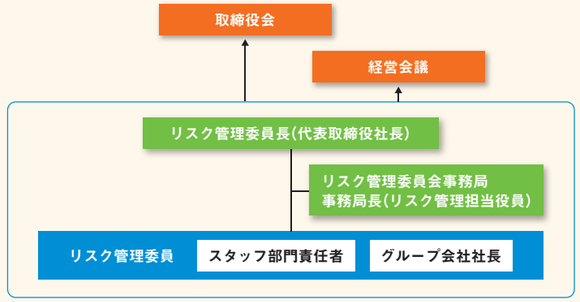
キーウェアグループでは、役員並びに全社員のコンプライアンスへの意識向上を図るため、コンプライアンスに関する情報を役員並びに全社員向けに発信するほか、情報セキュリティ及び社員の倫理的行動を促すことを目的とした教育を役員並びに全社員向けに実施しています。



リスクマネジメント

基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病及び会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより事業運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づいてリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



リスク管理委員会体制図

大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロ及び社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアグループが被害にあった場合、またあう恐れのある場合に備えて、役員並びに全社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方針として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品（3日分の水、食料、ブランケット、簡易トイレ等）の整備、防災訓練などを実施しています。

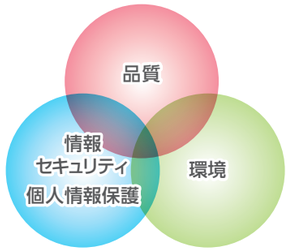


防災訓練の様子（本社）

統合マネジメントシステム（品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境）

基本的な考え方

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステム（QMS）、環境マネジメントシステム（EMS）、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）、及び個人情報保護マネジメントシステム（PMS）を統合したマネジメントシステム「iSMASH」を運用しています。



※iSMASH：
integrated Synthetic Management
System of Quality Assurance
for a Software House

品質

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステム（QMS）の運用だけにとどまらず、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステム（QMS）をブラッシュアップする活動を進めています。

情報セキュリティ

キーウェアグループでは、ISMS認証を取得し、機密情報管理を徹底しています。また、日常的に守るべきルールを「情報セキュリティ遵守事項」としてまとめ、役員並びに全社員及び当社業務に関わるパートナー会社社員に配付しています。「情報セキュリティ遵守事項」は、社内外の状況変化に対応するため、毎年見直しています。これに加え、全社・部門・プロジェクト等の各階層において、情報セキュリティ教育を継続的に実施し、情報セキュリティ意識の向上を図っています。



個人情報保護

キーウェアグループでは、個人情報の取り扱いに際して十分に配慮し、個人情報保護に努めています。また、キーウェアサービス及びキーウェア九州を除く各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。

環　境　編

キーウェアグループでは、
環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、
豊かな社会と環境の実現のため、
生物多様性の保全及び温室効果ガス削減に
積極的に取り組んでいます。

環境目標

中長期目標

温室効果ガス排出量　2020年度に 25%減少（2009年度比）

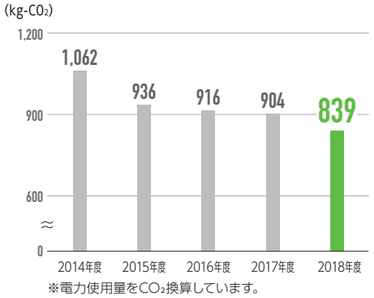
単年度目標

	2018年度目標	2018年度実績	2019年度目標
電力使用量	2017年度実績と同等以下	2017年度比 2.0%減少 ↘	2018年度実績と同等以下
紙使用量	2017年度実績と同等以下	2017年度比 1.1%減少 ↘	2018年度実績と同等以下
廃棄物量	2017年度実績と同等以下	2017年度比 1.8%増加 ↗	2018年度実績と同等以下
グリーン調達率	2017年度実績と同等以上	2017年度比 0.2ポイント減少 ↘	2018年度実績と同等以上

環境パフォーマンス

CO_2排出量

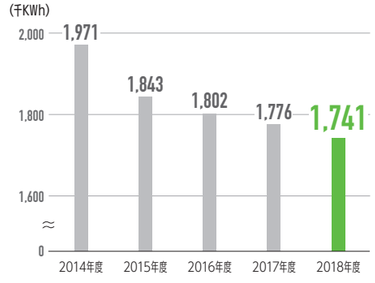
2009年度比 32.1%減
前年度比 7.2%減



※電力使用量をCO_2換算しています。

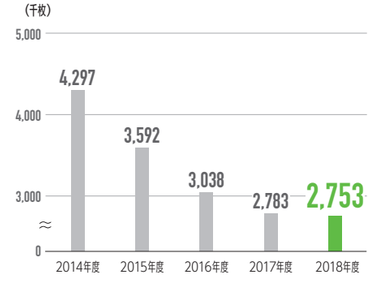
電力使用量

前年度比 2.0%減



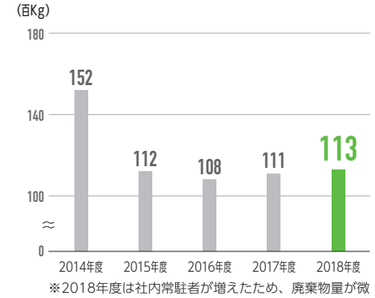
紙使用量

前年度比 1.1%減



廃棄物量

前年度比 1.8%増



※2018年度は社内常駐者が増えたため、廃棄物量が微増しました。

特筆すべき活動

環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。

その結果を経営者へ報告することで、遵法性評価のPDCAを確実に展開しています。

環境教育

キーウェアグループの環境活動に関わる全ての関係者に教育を実施しています。

- 全社員及び当社業務に関わるパートナー会社社員に対しe-Learningによる環境教育を実施。
- その他協力会社（廃棄物処理業者・清掃業者等）に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。
- 中途採用者及びプロジェクトへの新規参画協力会社社員に対する教育を随時実施。

「打ち水日和」への参加

東京では、猛暑日や熱帯夜が増加するなど夏の暑さが課題となっています。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催といった観点からも、暑さ対策を進めていくことが求められています。そこで、暑さを和らげるための江戸の知恵である「打ち水」が、東京のおもてなし（作法）として定着することを目指し、都内各所で打ち水を繰り広げるイベント「打ち水日和」を実施しています。

八幡山本社では、2018年7月と8月の始業前に、玄関と裏の駐車場に打ち水を実施しました。賞味期限の切れた備蓄用の飲料水を使用して、ひしゃくやペットボトルで打ち水を行いました。毎回、社長から新入社員までの有志30名前後が参加しています。

9時前で既に30℃を超える日もありましたが、打ち水後は確かに体感気温が下がり、打ち水効果を実感できました。

これからも二次利用水を活用し、打ち水を続けていきたいと思います。



ECO事業所宣言

キーウェアグループでは、各自治体が実施しているエコ事業所に登録しています。

保護（まもる）くんを活用したリサイクル活動

	2016年度	2017年度	2018年度
年間排出量	10,700kg	9,820kg	9,260kg
森林伐採抑制量	159本	146本	138本
CO_2排出抑制量	4,583kg	4,223kg	3,982kg

保護（まもる）くんとは

日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。

木植えあプロジェクト（東北支店）

2019年7月に開催された「鎮守の森のプロジェクト植樹&育樹祭2019 in 岩沼市」に東北支店が参加しました。

会場となった「千年希望の丘」は、東日本大震災で被災した宮城県岩沼市の沿岸約10kmにわたって6つの公園（丘）を園路（緑の堤防）でつなぐことで、津波の力を減衰させる役割のほか、いざという時の避難場所となるよう整備されています。

丘の土台などには、人々の生活の証である震災ガレキが用いられており、大津波の痕跡や被災者の想いを後世に伝えています。さらに集落跡地などの遺構を保存し、震災の記憶や教訓を国内外に発信するメモリアル公園と防災教育の場として活用されています。

千年希望の丘では、2013年から植樹が始まりました。15～20年後には立派な森となり、津波の威力を分散・減衰する「緑の堤防」となります。

今回は市内外から500名を超える参加者が集まりました。午前中に育樹活動（草抜き）を行い、午後に津波に流されずに残っていたタブノキを含む24種類約6,000本の苗木を植樹しました。

今回までに33万本の苗木が植樹されたことになります。

今後も東北支店の役割のひとつとして、被災地の復興に役立つ活動を行っていきます。



社　会　編

キーウェアグループは、企業理念として掲げている「社会的役割」の考え方に基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆様との関係を重視し、共に成長・発展していくための取り組みを行っています。

お客様とともに

お客様満足度（CS）向上

キーウェアグループでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

お客様満足度（CS）アンケート実施

キーウェアグループでは、お客様に対して満足度調査のアンケートを実施し、自身の業務の改善やお客様によりご満足いただくために結果を活用しています。

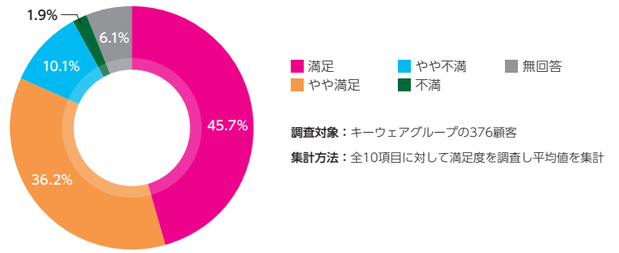
いただいたご意見／ご指摘につきましては、直ちに社内で共有し、改善に取り組んでいます。

CS改善活動実施

よりお客様にご満足いただくため、各部門にてアンケート結果の分析を行い、CS改善活動計画を策定し、改善活動を実施しています。

各部門での活動状況は、経営層を含め月次で確認し、改善活動を推進しています。

2018年度お客様満足度（CS）アンケート結果



調査対象：キーウェアグループの376顧客
集計方法：全10項目に対して満足度を調査し平均値を集計

株主・投資家の皆様とともに

基本的な考え方

キーウェアソリューションズは、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアグループに対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内へフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めていきます。

情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適宜、正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「有価証券上場規程」で定められる情報及びそれらに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアグループを理解していただくために有効な情報についても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方々に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて決算情報、財務データをはじめ、キーウェアグループの強みや特徴などを日本語と英語で掲載しています。

また、アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催し、その様子を動画で配信しています。



株主通信「KEYWARE TIMES」


機関投資家向け決算説明会

●所有者別株式分布状況（2019年3月31日現在）



合計 9,110,000株

地域社会とともに

PICK UP「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加しました

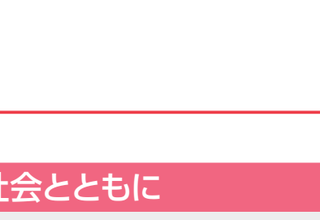
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京2020組織委員会）が実施していた「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加しました。

このプロジェクトは、使用済み携帯電話等の小型家電から抽出されたリサイクル金属を使用しオリンピック・パラリンピックの金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルを製作するというものです。国民が参画し、メダル製作を目的に小型家電の回収を行い、集まったものから抽出された金属でメダルの製作を行うプロジェクトは、オリンピック・パラリンピック史上、東京2020大会が初めてとなります。

キーウェアグループでは、業務用携帯電話約2,200台と付属品等1,700台を提供しました。

ちなみに、メダル1個の作成に必要な携帯電話は5,000台と言われています。

微力ですが、東京2020大会にご協力できてうれしく思います。



PICK UP 河口湖畔の清掃活動を行いました

2018年9月に日本パープル様と富士山アウトドアミュージアム様共催の「富士山クリーンプロジェクト」に東京地区3社の社員及び家族の合計30人で参加いたしました。

最初に、富士山周辺には全世界的な課題となっているマイクロプラスチックの原因となるゴミが大量にあること、プラスチックゴミを巣材にするためひな鳥が犠牲になっていること、釣り人が放置していった釣り糸に絡まり水鳥がけがをしたり、命を落としたりしていること等の悲惨な状況について写真を見ながら説明していただきました。また、ゴミは重さ・大きさではなく、数が大事で、小さいものを数多く拾うよう指導を受けました。

清掃活動の場所は、河口湖大橋近辺の湖畔と駐車場です。少しでも水鳥たちの被害が減らせるように、気合を入れて清掃活動を行いました。中には湖の中に入ってゴミを拾う熱心な人もいました。子どもたちも真剣にゴミを見つけていました。旗竿、たばこの吸い殻、ペットボトル、空き缶、花火や釣り糸に加え、ビニール片やプラスチックのかけら等々、大きなものから小さなものまで拾いました。パッと見ると特に汚いような印象はないのに1時間では拾いきれないほどのゴミがありました。

これからも富士山周辺の環境保全にご協力していきたいと思います。



インターンシップの実施

学生の皆様の職業観、職業意識の形成・向上を目的として、インターンシップを実施しています。

2018年度は、8月、1月、2月に実施しました。

システムエンジニアの仕事を理解していただくために、当社が開発したシステムや製品に触れたり、お客様企業の課題を解決するサービスの企画を考えたりしながら、暮らしの中にある身近な課題をもとに、新たなサービスを創出する仕事のプロセスなどを現役のシステムエンジニアと交流しながら体験していただきました。





献血の実施

毎日輸血を必要とする方が多くいます。血液は人工で作ることができず、長期保存もできないため、多くの方々の献血が必要ですが、献血率は高くありません。

日本赤十字社から12月は輸血用血液の確保が難しいとのお話をいただき、八幡山本社では毎年12月に献血車にきていただき、会社としての献血を実施しています。

2018年も12月上旬に実施し、予定を上回る社員から協力が得られました。

今後も血液確保の難しい冬に協力したいと考えています。





社員とともに

PICK UP キーウェア・ファミリーデーを開催しました

2018年8月21日に毎年恒例の「キーウェア・ファミリーデー」を開催しました。

「キーウェア・ファミリーデー」は、「働きやすい・家族を大切にする職場の雰囲気づくり」を行い、改めてワーク・ライフ・マネジメントについて考えるきっかけにしてもらおうという主旨で開催しています。社員のご家族を招待し、日々社員を支えてくれるご家族の職場に対する理解を深めてもらうとともに、社員のご家族と実際に会うことで、職場のコミュニケーションを促進し、どの社員にも大切なご家族があるということを社内全体で再認識できました。

参加者はキーウェアソリューションズとキーウェアサービスの17家族（3～12歳の子ども22名とその保護者20名）。両社長とのTV会議を実施後、4つのグループにわかれ、事業部見学ツアーに出発。訪問先の事業部では、業務内容の説明を聞いたり、名刺交換をしたりお菓子をいただいたりと、お父さん、お母さんの上司や同僚と交流を楽しみました。ツアーの最後は社長室で、両社長から「こども社員認定証」とご褒美が授与されました。その後、プログラミング体験や魚釣りなど縁日を楽しみ、お土産として家族写真を入れたマウスパッドをお持ち帰りいただきました。参加した子ども達や社員から好評をいただいていますので、今後も継続していきます。





PICK UP 女性活躍推進セミナーを開催しました

2019年2月27日に女性経営者の方を講師にお招きし、女性管理職とリーダークラスの社員を対象とした女性活躍推進セミナーを開催しました。キーウェアソリューションズ、キーウェアサービス、クレヴァシステムズの女性社員26名が参加しました。

当日は「女性が活躍する組織は何故強いのか～自分の人生を切り開く～」をメインテーマに、講師の方の経験談から、女性活躍推進の現状や課題、今後のポイント、管理職やリーダーとして活躍するためのマネジメント力について等、さまざまなお話をうかがうことができました。

講演後のワークショップでは、現状の問題点を洗い出し、課題解決の方策までを参加者で話し合いながら「働きやすい職場の理想像」を考え、発表を行いました。他の方がどんな問題を抱えているのか、どうしていきたいと考えているのかを知る貴重な機会となりました。

参加者からは、「女性特有のキャリアプランの考え方を学ぶことができた」「もっと時間をかけて話を聞きたかった」などの声をいただきました。また、「女性社員だけではなく、男性管理職・リーダークラスに受けてもらっても良い内容だと思う」との意見もいただきました。

今後も社員の活躍をサポートできるようなセミナーを開催してまいります。



人材育成への取り組み

キーウェアグループでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。社員の技術スキルの向上を図り、より専門性を高めることを経営戦略の重要テーマとして、社員一人ひとりの適性・志向に合った研修プログラムを実施しています。全ての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキルの向上及び自己啓発支援の一環として資格取得を推進し、会社が必要と認めた公的資格・認定資格を取得した者に対しては資格取得奨励金を支給して、社員のキャリアアップを支援しています。

またIT業界においてはプロジェクトマネージャーの存在意義がますます高まっていることから、プロジェクトマネジメントに関する国際資格であるプロジェクトマネジメントプロフェッショナル（PMP®）資格取得支援を行っており、これまでに147名の社員がPMP®資格試験に合格しています。

女性社員の活躍を推進するための取り組み

女性社員が活躍できる環境をつくるため、5ヵ年計画を策定し、実行しています。

- 産休、育休中の情報提供や個別説明の実施
- 全社員に対する働き方に関する意識改革を促す取り組みの実施（階層別研修など）
- 昇格候補者に対する意識付け（人事部や上司から）
- 女性支援セミナーの実施

部長級・課長級・係長級の女性社員の人数

部長級（管理職）	課長級（管理職）	係長級（一般職）
2名	6名	19名

2019年4月現在　キーウェアソリューションズ

多様な人材の活躍を支援するための取り組み

キーウェアグループは、社員一人ひとりの個性や異なる発想・価値観を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指しています。多様な人材の活躍支援に向けて国籍や性別の区別なく採用活動を行っております。

外国籍社員の人数と障がい者雇用率

外国籍社員	障がい者雇用率
16名	1.83%

2019年3月末現在　キーウェアソリューションズ

健康管理とメンタルヘルスケア

社員が健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、2007年にEAPサービス（外部カウンセラー相談窓口）を導入、2009年から保健師による健康相談（長時間労働者、健康診断有所見者）を実施、2016年からキーウェアグループ役員・正社員・契約社員を対象にストレスチェック制度を実施して、社員ならびに家族の心身の健康をサポートする制度の充実を図っています。

また、2018年8月1日に「健康企業宣言」を行いました。健康測定機器の設置や自動販売機へのカロリー表の添付等、健康づくりのための職場環境の整備・改善に努め、健康経営への取り組みを積極的に行った結果、2019年7月2日付で健康優良企業に認定（銀の認定）されました。

健康企業宣言とは

健康優良企業を目指して、企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、一定の成果を上げた場合は「健康優良企業」として認定される制度です。東京都内の健康保険組合に加入する企業が参加対象です。



労働安全衛生

労働災害発生件数

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
業務災害	1件	1件	3件	0件
通勤災害	4件	0件	4件	4件

キーウェアソリューションズ

ワーク・ライフ・バランス

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境を整備できるよう、3ヵ年計画を策定し実行しています。

- 社員の負荷軽減と休暇取得促進を図り、年次有給休暇の年間取得日数を前年度以上、月間平均残業時間を前年度以下にして「健康経営」「ワーク・ライフ・バランス」を実現します。

有給休暇の取得実績

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
平均取得日数	11.1日	11.9日	12.3日	12.5日
平均取得率	55.5%	59.5%	61.4%	62.5%

キーウェアソリューションズ

月間平均残業時間

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
キーウェアソリューションズ	約23時間	約21時間	約21時間	約22時間
キーウェアグループ	約23時間	約22時間	約22時間	約22時間

- 仕事と子育て・介護等の両立を支援・推進する諸制度（育児・介護休業制度、育児・介護時短制度、子の看護休暇、介護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセラー相談窓口など）の周知や情報提供を行います。子育てや介護等のための休暇や職務について、柔軟な対応が可能となるように制度の見直しを図ります。

育児休業取得者・子の看護休暇利用者数

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
育児休業取得者	11名（0名）	10名（0名）	18名（1名）	18名（1名）
子の看護休暇利用者	9名（0名）	13名（1名）	20名（7名）	19名（6名）

キーウェアソリューションズ　（ ）内は男性社員

介護休業取得者・介護休暇利用者数

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
介護休業取得者	2名（1名）	0名（0名）	0名（0名）	2名（2名）
介護休暇利用者	3名（3名）	3名（3名）	11名（10名）	12名（8名）

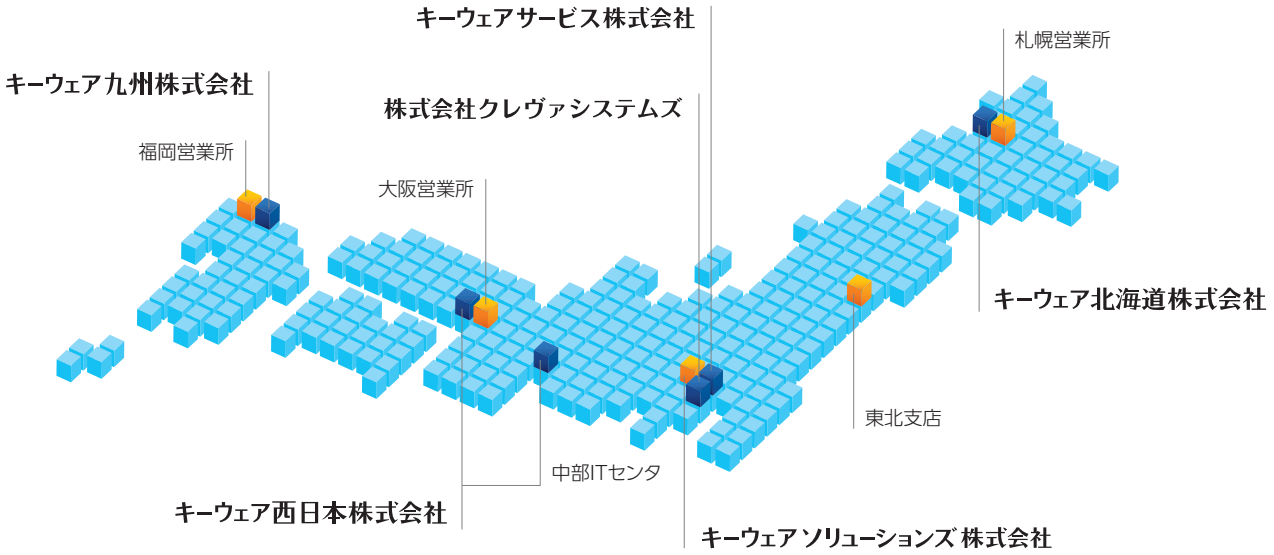
キーウェアソリューションズ　（ ）内は男性社員

会社概要

会社名	キーウェアソリューションズ株式会社
創立	1965年5月
資本金	17億37百万円
売上高	175億61百万円（2019年3月期・連結）
従業員数	1,095名（2019年3月期・連結）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部（証券コード：3799）

キーウェアグループ

キーウェアサービス株式会社
キーウェア北海道株式会社
キーウェア西日本株式会社
キーウェア九州株式会社
株式会社クレヴァシステムズ



編集方針

「キーウェアグループ　CSR報告書2019」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアグループのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様に、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」という形でご報告しています。

キーウェアグループは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

ホームページ

キーウェアグループの社会・環境活動（CSR）につきましては、ホームページでもご覧いただけます。
https://www.keyware.co.jp/csr/index.html

報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています。

報告対象期間

2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）
※一部に2018年度以降の活動も含んでいます。

発行年月

2019年8月

表紙デザインについて

表紙のデザインには、いつまでも続く豊かな人々の暮らし・社会・環境の実現に向けたキーウェアグループのICTを通じた事業への取り組みを表現しています。

KEYWARE SOLUTIONS

キーウェア ソリューションズ 株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
経営管理部　CSR推進室
TEL 03-3290-1111　FAX 03-3290-6741
https://www.keyware.co.jp/

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC™ C009419
VEGETABLE OIL INK
UD FONT

本誌は、FSC® 森林認証紙と、植物性インキを使用しています。
本誌は、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。